

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふるーる		公表日 2026年 1 月 27 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		規定に基づいたスペースで行っています。 活動内容やお子さんの状況によっては、空間を分けるなど、安心して過ごせるよう工夫しています。	今後も活動内容やお子さんの状況に合わせてレイアウトを工夫しながら、お子さんが安心して過ごせるよう配慮していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		規定の人数を配置しています。	規定の配置人数に加え、加配条件を満たす人員配置が出来るよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんが、どこで何をしたら良いか、今何をしたら良いか等がわかりやすいよう、絵カードやスケジュール表など利用して、安心して自発的に動ける環境を心がけています。 お子さんにとって必要な情報を整理して、見やすい環境を心がけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓を心がけています。 毎日室内外の掃除を行い、清潔な環境を整えています。また、仕切りなど利用して、お子さんの活動に合わせた空間を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さんの状況に合わせてパーテーションなどを活用し、落ち着いて活動に取り組める空間を確保しています。	

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングでは、職員全員が参加し振り返りや活動内容について話し合い、より良い支援に向けて改善しながら進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様から頂いたご意見や結果を真摯に受け止め、職員間で話し合い、改善出来ることは早めに取り組むよう努めています。 また、日々の保護者さんへの振り返りの中で、ご意見やご希望を伺うよう努めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや日々の会話、職員面談等で出てきた意見を踏まえながら、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、第三者による外部評価は実施していません。今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修計画を作成し、全員が内外研修を受け資質の向上に努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合いの場を持ち作成しました。 現在ホームページ上で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援計画の見直しの時期に合わせてアセスメントを行い、保護者様のご希望を踏まえて支援計画を作成しています。また、日々の中でも行動観察や課題の取り組み等、インフォーマルなアセスメントを行い課題の修正など行っています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間でお子さんの状況を共有し、お子さんにとって良いと思われる内容と支援方法を話し合いながら作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画、目標を職員間で共有しています。毎日のミーティングの中で、個々の計画に沿った活動となっているか、どのような支援が必要か検討しながら支援に取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様に合わせたアセスメントツール（フォーマル・インフォーマルどちらも）を活用し、日々の支援に活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントの結果を踏まえ、保護者様のニーズやお子さんの状況に合わせながら、必要な項目を設定し、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の打ち合わせの中で活動プログラムを立案し、職員間で共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さんが楽しく参加できるように季節感を感じられるようにしたり、同じ目的でも活動に変化を付けたりなど、工夫して行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さんの状況や目標に合わせてプログラムを立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日支援前にミーティングを行い、支援内容や役割分担の確認をし連携を図っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後、気づいたことを確認したり、翌日のミーティングで振り返りを行い、職員間で情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々業務日誌や個人ファイルに記録を残して課題分析を行い、改善に努めています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングだけでなく、必要に応じて見直ししています。	
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、お子さんの状況をよく理解した者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関との連携が取れるよう体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、保護者様と連携しながら情報の共有を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	必要に応じて、保護者様と連携しながら情報の共有を図っていきたいと思います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		センター主催の研修に参加するなど、助言や情報提供をしてもらっています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		お子さまに合わせて自立に向けた基本的な支援を個別的にさせていただいていますので、限られた時間の中での設定は難しいと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、活動の内容やお子さんの様子を保護者様にお伝えしています。その中で、お子さんの状況や課題について共通理解が図れるよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修は実施していませんが、必要に応じて情報提供を行っています。	更なる充実を図る為、家族支援プログラムの提供の仕方を検討していきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明している他、変更があった場合は、その都度丁寧な説明を心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画を作成する際には、保護者様の意向を確認する時間を設けると共に、お子さんの最善の利益を考えた支援内容の提供を心がけています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画作成時には、支援内容の説明を行い、同意を頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		クラス終了後のフィードバック時に、保護者様からの相談にも随時対応させていただき、必要な助言や支援に努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者向け学習会を企画し保護者様同士の交流の場を設ける予定です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		毎回フィードバックの時間に、保護者様の思いを聞かせていただき、必要に応じて面談の時間を設けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に法人よりお便りを発行しています。また、必要に応じて連絡事項などをお手紙でお伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットで保管する等、十分に注意を払い取り扱っています。研修を受講したり定期的に確認をし合うなど周知徹底に努めています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ひとり一人に合わせた支援方法など、保護者様には実際に使用している課題などお見せしながら説明しています。 お子さんには言葉と共に視覚的にわかりやすい写真や絵カード・文字などを提示してわかりやすくお伝えする等配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行事等の招待は行っていないですが、近隣の方には挨拶など積極的に行っています。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定しております。 職員には事業所内研修の中で周知し、定期的に訓練も行っております。 保護者様には、契約時、年度初めに説明を行い、訓練実施後にフィードバック時にご様子をお伝えしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しており、年間避難訓練計画に基づき訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や新年度に状況を確認させていただいてます。必要に応じて個々のマニュアルに基づいて対応させていただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無の確認を行っており、アレルギーのある場合は、医師の指示書の提出をお願いしております。その指示書に基づき、事業所内のマニュアルに沿って、職員間で共有し対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に基づき研修や訓練を行っています。また、安全管理に留意した環境を心がけ、日々の支援を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を配布し、取り組み内容について説明させていただいています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった際には、すぐに報告書を作成し、原因、要因と予防策などを職員間で共有し再発防止に努めています。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、外部研修参加や事業所内研修を行っています。 事案があった場合はマニュアルに沿って迅速に対応をします。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		現在該当のお子さんはいませんが、そのような状況になった場合は、マニュアルに沿って対応し、保護者様への丁寧な説明と同意をいただき支援計画に記載します。